コミュニケーション教育「豊岡版コミュニケーション授業　年間計画表」

		１学期	２学期	３学期
小６	単元名	「コミュニケーション・ゲーム」	対話劇を体験しよう 「転入生がやってきた」	「ダメですか？／ダメですよ」
	目標・内容	コミュニケーション・ゲームを中心とした簡単な話し合いと発表の経験を繰り返すことで、様々な他者と関わり、多様な価値観と表現方法があることを知る。	台本作りと劇の発表を通して、「仲間と一緒に表現すること」の喜びを実感する。また作る過程において、感性をすり合わせる合意形成の難しさや、タイムキープの重要性などを理解する。	終わりのセリフが決まっている短いテキストを創作し発表する経験から、個性や価値観、表現の多様さを楽しみ、それらをポジティブに受け入れる経験をする。
	方法・準備	内容に応じて２～６名のグループ	５～６名のグループ ワークシート	２名のグループ（３名でも可） ワークシート、CD ラジカセ等
	具体的な教師の関わり・留意点	ゲームごとに多様な表現を褒めつつ、子どもたちの他者との関わりの傾向を捉えて最後にフィードバックする。主体的に関わろうとしているかを観察する。	話し合いと練習の様子を観察し、各々がアイディアをどのように他者に伝えようとしていたか、それらをどのように受け入れていたかを最後にフィードバックする。	二人組での話し合いと練習の様子を観察し、その取り組みの特徴や意思決定にそれぞれがどう貢献していたか最後にフィードバックする。
	時間数	２時間	３時間	２時間
中１	単元名	「ジェスチャーで場面作り」	「オリジナル短歌と演劇づくり」	対話劇を創ろう 「○○を伝える対話劇を創ろう」
	目標・内容	コミュニケーションゲームとジェスチャーによる場面創作を行う。グループでの話し合いと発表を経験することで、他者との価値観の違いや協働することの意味を知る。	オリジナルの短歌をつくり、それに基づいた演劇の場面を創作し発表する過程を通じて、表現活動が他者との共有を前提としていることを知り、また「観察」の重要性を体感する。	台本作りと、本格的な劇を創ることを通して、「誰に伝えたいのか」「そのためにはどんな工夫が必要か」を意識した発信力と創造力を高める。創作の過程において、自己主張及び協働等の活動を、計画的に見通しを持って行う。
	方法・準備	創作：６～７名のグループ キーワードの書かれたカード	５～６名のグループ ワークシート	５～６名のグループ ワークシート
	具体的な教師の関わり・留意点	話し合いと練習の様子を観察し、グループごとの特徴の違いや他者の意見をどう受けとめていたかという点について最後にフィードバックする。	話し合いと練習の様子を観察し、グループごとの役割分担（意見を述べる／意見を展開する／意見をまとめる、等）の特徴を捉え、最後にフィードバックする。	話し合いと練習の様子を観察し、各々がどのような形でグループに貢献していたか、また主体的に関わろうとしていたかを捉え、最後にフィードバックする。
	時間数	２時間	２時間	３時間

※コミュニケーション教育の趣旨から児童生徒数が１５名未満の場合は、原則小６は小５と合同で、中１は中２と合同で行うこととする。